



3人の子を持つ
ママさん議員

群馬県議会議員 かがや富士子

かがや富士子通信

2023年
VOL.17



リベラル群馬

お世話になります。
県議会議員のかがや富士子です。
寒さが厳しい頃となりました。
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

🌱 農業と教育に力を 📖



輸入肥料等の価格が高騰し、農家の皆さんに大きな打撃となっています。また小麦等の価格が上昇し、私たちの生活にも大きな影響が出ています。
食べることは生きること。今こそ**食料自給率を高め、地産地消**を進めていくべきです。群馬県の食料自給率は、カロリーベースでは32%（令和元年度概算値：全国31位）。農業推進に向けて更なる取り組みが必要です!!



少子化が止まらない一つの理由は、**教育に多額の費用**がかかること。私自身、**高校生を持つ親**になって、改めて義務教育後の教育費等の負担を感じます。また、教育格差を生まないためには**奨学金の拡充**も重要。奨学金の拡充は**群馬県の未来への投資**です。群馬県内の2021年の出生数は前年比424人減の1万1236人で、統計が残る1907年以降で最少となっています。

防衛費増額より、農業と教育にもっと力を

国は、国防の為に防衛費を倍増させると言う方針ですが、食料自給率を上げる事こそが国防です。食料自給率約3割の日本。他国の有事により食料の輸入がストップすれば国民は飢えてしまいます。今こそ農業に力を入れるべきです。また、日本の発展には、教育にもっと予算を投入し、少子化の解消、教育格差の解消をし、海外に負けない優秀な人材を育てることが重要です。**軍備拡大は戦争への道、平和外交、農業と教育**に力を入れるべきだと考えます。



一般質問に登壇しました。

65分間と言う限られた時間での真剣勝負。

今回も現場で活躍されている皆さんからご意見、ご要望を聞かせて頂き取り上げました。

～こんなことを取り上げました～

中高生の性教育について

インターネット等で性情報が氾濫し、子どもが誤った知識を得てしまう可能性がある。産婦人科医等の協力を得ながら更なる性教育の取組と包括的性教育の実践を。

教員の多忙化解消について

教員の長時間労働がなかなか減らない為、多忙化解消に向けて更なる業務の見直しと削減を。

特別な支援を要する児童生徒への対応について

学校に医療的ケア児など特別な支援が必要な子どもが増えているが、支援する職員は増えていない。職員増を要望。

こどもの居場所づくりについて

燃料費高騰により運営が厳しい。また通常時の運営費の支援も必要。

有機農業の推進について

消費者への意識啓発、生産者への技術支援が重要。農業高校等で有機農業の授業を提案。

介護人材の確保について

離職せずに定着させる為の支援の充実と国の処遇改善加算の見直しを要望。

知事部局における男性職員の育児参画について

男性職員の育児休暇取得率は2021年度は前年比2倍増!!◎

他にも、高校入試における外国籍生徒の特別枠について、群馬県いきいきGカンパニー制度について、ジェンダー平等について、取り上げました。

ジェンダー平等について ジェンダー平等って、なに??

ジェンダーとは「男らしい」「女らしい」という社会的なイメージや、「家事は女性がやるもの」といった社会的な役割分担のことをさします。

皆さんの中に「男は仕事」「女は家事、育児」といった性別による役割分担意識が根付いてないですか？

ジェンダー平等に向け、性別役割分担意識を変えていく必要があります。

女性の活躍?! すでに活躍しています!!

もう既に私たち女性は活躍をしてきていたのに、女性がこれまで担う事が多かった家事や育児や介護と言った人のお世話をするケア労働が評価されてこなかったのではないのでしょうか。保育士や介護士といったケア労働の賃金が安いのも、ケア労働が評価されないことが原因かと考えます。

性差や国籍、障害の有無に関わらず、自分らしく生きられる群馬県を目指していきます。

ぜひ皆様の声をかがや富士子に聞かせてください。

かがや富士子事務所

群馬県議会議員かがや富士子の県議会報告書・活動報告 かがや富士子通信第17号2023年1月
リベラル群馬 発行人 加賀谷富士子
〒372-0006群馬県伊勢崎市太田町564-1-2-2 TEL:0270-22-2451 FAX:0270-22-2455

TEL 0270-22-2451 FAX 0270-22-2455 e-mail fujiko_kgy@ybb.ne.jp

ブログ・facebook更新中 [かがや富士子](#) 検索 www.fujikokagaya.com